

救急車で来院し造影 CT 検査を行った患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。
また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	Point of care (POC) による迅速 eGFR (estimated glomerular filtration rate) 測定と血清クレアチニン測定による eGFR の誤差についての研究
研究責任者	地方独立行政法人大牟田市立病院 救急科 責任者名：宮崎 允宏
研究の目的と意義	<p>救急外来では緊急的に造影 CT (Computed Tomography) を施行する場合がありますが、ヨード造影剤によって急性腎障害を引き起こすリスクがあります。腎機能が低下 (ESUR 2018 のガイドラインでは eGFR は $30 < \text{mL}/\text{min}/1.73\text{m}^2$) している患者にはそのリスクが高くなります。そのため救急外来では造影剤腎症リスクとしてスクリーニング目的に POC^{※1} による迅速クレアチニン測定を行い eGFR を算出しますが、血清クレアチニン値による eGFR との解離がみられる症例があります。その解離の要因について検討します。血清クレアチニン結果よりも前に予測できる因子があれば臨床的に応用し、より安全な造影剤使用判断が可能になると考えられます。またそれに伴う有害事象が発生するのか検討します。</p> <p>※1：POC：検査室ではなく、診療現場や患者のそばで検査を行うことを指します。</p> <p>* この研究は、大牟田市立病院倫理委員会臨床研究専門部会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。</p>
調査データ 該当期間	2024 年 1 月から 2024 年 4 月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none">●対象となる方 研究対象期間に大牟田市立病院へ救急車で搬送された患者のうち外来で迅速クレアチニン測定と造影 CT 検査を施行した患者●研究の実施期間 病院長の研究実施許可日 から 2026 年 3 月 31 日まで●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録を利用します 患者基本情報 病歴 既往歴 内服歴 疾患名、転帰 血液データ 画像データ 造影剤使用量

<p>情報の保護</p>	<p>研究に関わる関係者は、対象となる患者さんの個人情報およびプライバシーの保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。</p> <p>対象となる患者さんの個人情報は、個人情報が特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（対応表）は、研究責任者が保管します。</p>
<p>外部への情報提供</p>	<p>外部への情報提供は行いません</p>
<p>利益相反</p>	<p>本研究の実施にあたり特定企業との利害関係はありません</p>
<p>試料・情報の提供の辞退に関するお申し出先・お問い合わせ先</p>	<p>地方独立行政法人大牟田市立病院 研究責任者：宮崎 允宏 電話：0944-53-1061（平日 9 時～16 時）</p>
<p>備考・その他</p>	